

■ナルグリップ 適合表

2017年6月2日改訂

※本表は目安としてご利用下さい。実際の付着力・摩擦力はご使用環境や塗布方法によって大きく変わりますので、本施用前にテストなどを行って下さい。

使用環境	下地	適合度	備考
屋外	コンクリート(塗装無し)	○	
	コンクリート(塗装有り)	△	塗装の種類によって別途目粗し等の前処理が必要となる場合があります。また、塗装の種類によっては、接着しない可能性があります。
	アスファルト	○	
	縞鋼板	○	
	木材	○	木材がしなる場合は剥がれやすくなります。
	石材	○	表面が鏡面仕上げの場合は水濡れ時に剥がれる場合があります。
	タイル	△	表面が平滑な場合は水濡れ時に剥がれを生じる場合があります。塗布する場合はタイル目地部分も含めた位置とし、塗膜幅を60mm以上確保し、厚めに塗布して下さい。剥がれやすい環境では、別途目粗し等の下地処理が必要となる場合があります。
	アルミ板	△	表面が平滑な場合は水濡れ時に剥がれを生じる場合がある為、別途目粗し等の前処理が必要となります。
	樹脂床	×	樹脂の種類によって、別途目粗し等の前処理が必要となる場合があります。また、樹脂の種類によっては、接着しない可能性があります。
屋内(履き物有り)	コンクリート(塗装無し)	○	
	コンクリート(塗装有り)	△	塗装の種類によって別途目粗し等の前処理が必要となる場合があります。また、塗装の種類によっては、接着しない可能性があります。
	アスファルト	○	
	縞鋼板	○	
	木材	○	木材がしなる場合は剥がれやすくなります。
	石材	○	表面が鏡面仕上げの場合は水濡れ時に剥がれる場合があります。
	タイル	△	長時間の水濡れ時は剥がれる場合があります。水に濡れた靴で歩行する程度の濡れなら可。剥がれやすい環境では、別途目粗し等の下地処理が必要となる場合があります。
	アルミ板	△	長時間の水濡れ時は剥がれる場合があります。水に濡れた靴で歩行する程度の濡れなら可。剥がれやすい環境では、別途目粗し等の下地処理が必要となる場合があります。
	樹脂床	△	樹脂の種類によって、別途目粗し等の前処理が必要となる場合があります。また、樹脂の種類によっては、接着しない可能性があります。
屋内(履き物無し)	全般	×	履き物無しでのご利用はお避け下さい。滑り止めの粒子でケガをする可能性があります。